

グループホームにボランティアに行こう

鹿児島県認知症G H連絡協議会



グループホームにボランティアに行ってみたい！
高齢社会の中で、自分を活かせる地域貢献がしたい！

でもグループホームには認知症を患った高齢者的人が多いから、
わからないことが多い。心配だなあ（・・・）



高齢者とふれあって楽しく過ごしたい。お手伝いをして役に立ちたい。

グループホームなどの介護施設にボランティアの人を効果的に受け入れるための **体制作りをしています！**

【ボランティアさんにしてほしいこと】

- 利用者の人を見守ってくれるだけでも助かる
- 定期的に来て、利用者人の友達になってほしい
- 普段できない行事やレクリエーションを手伝ってほしい
- 掃除や炊事、洗濯も利用者・スタッフと一緒にやってほしい



その他にも…

歌 おどり 創作活動（折り紙・小物作り・飾りつけなど） 体操 レクリエーションの補助
家事（配下膳・洗濯…） 話し相手 散歩の付き添い 行事の補助 ドライブ中の見守り
庭の手入れ 畑で野菜作り 習字 コーラス フラダンス などなど何でも！



でもグループホームのスタッフは忙しくてゆっくりと説明する時間がない時もあります。
認知症の高齢者の方は、知らない人が近くにいるだけで不安になられたりもします。

【グループホームがボランティアさんに望んでいること】

- わからないことをそのままにせず、遠慮なく聞いてほしい
- 認知症の高齢者の方を人生の大先輩として尊重して、敬語で接してほしい
- 何でもできることを積極的に提案してほしい
- 事故にならないように利用者別の情報や介護の留意点を少しづつ覚えてほしい
- 毎回丁寧に自己紹介をして、コミュニケーションを大事にしてほしい



何も教えてもらえなかったら、何をしていいのかわからない。

「やってみたいな」「聞いてみたいな」と思っても、誰に相談していいのかわからない。

グループホームのオリエンテーション

- 1) 事業所の建物や設備、必要物品の位置 職員の紹介 当日の担当職員 利用者の（自己）紹介
- 2) 主にかかる利用者の症状や状態、ケアの方向性・留意点
- 3) その日に行うボランティア内容と考えられるリスクと対処法
- 4) 起こる可能性が高いトラブル、困りごととその時の対処法
- 5) ボランティアの人を受け入れてもらえるような紹介（利用者へ）
- 6) 会話のきっかけづくり
- 7) スタッフとの連携 次の予定

ボランティアさんが人や場所に慣れて活動できるには、

3ヶ月必要！

その間は、利用者・スタッフの人たちにどんどん聞いてください。

ボランティアの人たちは新しい仲間です。何でも聞いてください！